

2019年4月8日

日揮株式会社

**2019年3月期通期業績予想および配当予想の修正  
テレフォンカンファレンス説明要旨（2019年4月8日開催）**

※テレフォンカンファレンス開催日（2019年4月8日）時点の情報に基づく内容です。

財務部長の田口です。

現在、2019年3月期決算の取り纏めを行っており、業績の動向等を踏まえた結果、昨年開示した通期業績予想および配当予想を修正することと致しましたので、お知らせいたします。

まず、2019年3月期通期連結業績予想の修正についてご説明いたします。

この度修正となったのは親会社株主に帰属する当期純利益のみであり、前回（2018年11月8日）発表時点での予想値である100億円から、210億円に修正いたします。増加額は110億円、増減率は110%の増加となります。

増加した理由につきましては、一部海外案件の早期完工に伴い、法人税等計算上の課税所得が計画から大幅に乖離する見通しとなりましたことから、外国税額控除適用による二重課税の排除により、実効税率が低下する見込みとなったものです。

これにより、親会社株主に帰属する当期純利益の予想値を修正いたします。

少し具体的にご説明いたしますと、2020年3月期に完成を見込んでいた、ヤマル LNG 建設プロジェクトの最終売上時期が前倒しとなったことで、2019年3月期の国外所得が増加し、結果的に外国税額控除の枠が生じ、二重課税が排除できる見通しとなりました。

2019年3月期の売上高、営業利益および経常利益については現在集計中であり、予想数値を据え置いております。

次に、配当予想の修正についてご説明いたします。

当社は、配当政策として配当性向を親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目途とすることを掲げており、2018年5月10日に開示した際には2019年3月期の年間配当金として1株当たり12円を見込んでおりました。今回の業績予想の修正により親会社株主に帰属する当期純利益が増加する見通しとなったことに伴い、本配当政策に基づき、年間配当金予想

を1株当たり25円に修正いたします。

以上で説明を終わります。これよりご質問をお受けいたします。

以 上